平成20年度 施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年7月23日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18320
政策名(章)	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当局	市民局
基本施策名(節名)	第3節 男女共同参画社会づくりの推進	施策所管課	男女共同参画課
施策名	女性のエンパワーメントによる社会活動への参画促進	課長名	江成明美

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

男女共同参画社会の実現に向け、女性が自ら力をつけ、その能力を発揮するとともに、自らの意思によって主体的に選択できるよう支援するなど、社会のあらゆる場面への参画を促進する。

男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)を中心に様々な事業を実施する中で、学習の機会や場の提供、個人や団体の育成支援、政策・方針決定過程への参画促進に努めるとともに、女性のための相談事業を通じ自立支援を行っている。

2 事業費・人員 (単位:千円)

		1111 1111	
年度	平成17年度(決算)	平成19年度(決算)	増減の主な理由
事業費	42,041	36,067	
人件費	2,013		
市民一人あたりの 事業費(単位:円)	63	51	
合計	44,054	36,067	
し 供 書 は 一 啦 号	1 to the last of the last	このにて田し、大笠中、1日は	00.7工 (U10.4.1四本) 70.0工 (U00.4.1四本) 1.1.4

^{*}人件費は、職員一人あたり H17:805万円、H19:805万円として算定。人口は、66.7万人(H18.4.1現在)、70.6万人(H20.4.1現在)とした。

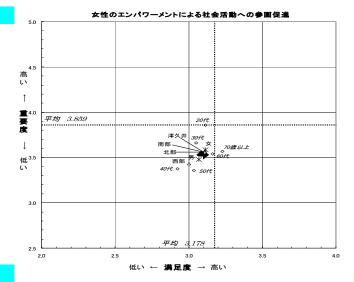
3 成果•活動指標

0 195.7	7/11 到 11 1 1 元			
	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)	
指標1	市審議会等への女性委員の参画率	審議会等の政策決定過程の場への女性委員の参画率から、男女共同参画推進の度合いをはかる。 ・女性委員÷総委員数×100	「さがみはら男女共同参画推進条例」第18条に、 「男女いずれかが委員総数の10の4未満とならないように努めなければならない。」と規定。	
指標2	ソレイユさがみセミナールームの利用 率	セミナールームの利用率から、男女共同参画推進センターに対する市民のニーズをはかる。 ・セミナールーム利用回数÷利用可能回数×100	ここ数年の利用率の推移を勘案し、6%(年 1.5%)の利用率の増加を見込む。	
指標3	ソレイユさがみ登録団体数	登録団体数の増減から、男女共同参画推進センターに対する市民のニーズをはかる。 ・登録団体数	同センターを本市の男女共同参画を推進する拠点施設として、活発な市民活動が行なわれるよう、年6団体の増加を見込む。	
指標4	ソレイユさがみ市民企画セミナー開催 数	市民が自ら企画した講座等開催数の増減を、男女共同参画社会の実現に向けた市民活動状況の指標とする。 ・市民企画セミナー開催数	市民の自主的な男女共同参画社会の実現 に向けた活動が年々活発化することが重要 であり、年2件の開催数増加を見込む。	
指標5				

	基準年 基準値	## H19		19	H20		H21		H22	
		中 基準値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位:%)	H17	28.5	40.0	26.0	40.0		40.0		40.0	
事業費/ 人員										
指標2 (単位:%)	H17	67.4	70.4	69.8	71.9		73.4		74.9	
事業費/ 人員										
11信3 (単位:団体)	H17	77.0	89.0	87.0	95.0		101.0		107.0	
事業費/										
指標4 (単位: <u>件</u>)	H17	9.0	13.0	13.0	15.0		17.0		19.0	
事業費/ 人員										
指標5 (単位:%)										
事業費/ 人員										

4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

- 〇この施策の満足度は3.095で121施策の中で81番目。
- 〇重要度は3.531で99番目である。
- 〇改善要望度は-0.1729で95番目である。
- 〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は20代で最も高く、50代で最も低くなっている。
- 〇地区別にみると、満足度は津久井で最も高く、西部で最 も低くなっている。重要度は北部で最も高く、西部で最も低 くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の 種類	評価基準• 着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析			
有効性	各事業が果たす 施策に対する目 標の達成度合い を把握し、効果の 高い事業を実施し ている	42 1	42 1				
市民満 足度	市民満足度調査 により市民ニーズ を把握し、市民の 立場に立って事業 展開している	4 2 1	4 2 1				
合計 3		3	評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)		1次評価 C		

^{*}Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題 審議会等、社会のあらゆる分野への女性の参画が伸びない現状については、当該分野に女性が少ないなど人材不足が大きな原因である。また、各分野における人材情報を共有できる体制が整っていないことも課題となっている。

政策・方針決定過程への女性の参画を促すために開催した講座の受講生に対して、企業や地域で男女共同参画の理念が実践できているか、その成果を確認することで、人材の確保を図る。また、男女共同参画センターにおいて、ソレイユさがみ登録団体と連携して女性のエンパワーメント支援のための様々な事業に取り組むことで、人材情報の共有化を図る。これらの具体的な施策については、プランの改定の中で検討していく。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

施策目的を考慮した適正な課題抽出になっていない。

⇒上記のとおり、修正済み。

C

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

市民満足度調査の結果から考えると、女性が本施策に対する重要性が高くないと感じている事が課題ではないの か。分析・検証し、解決策を検討すること。 C

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向